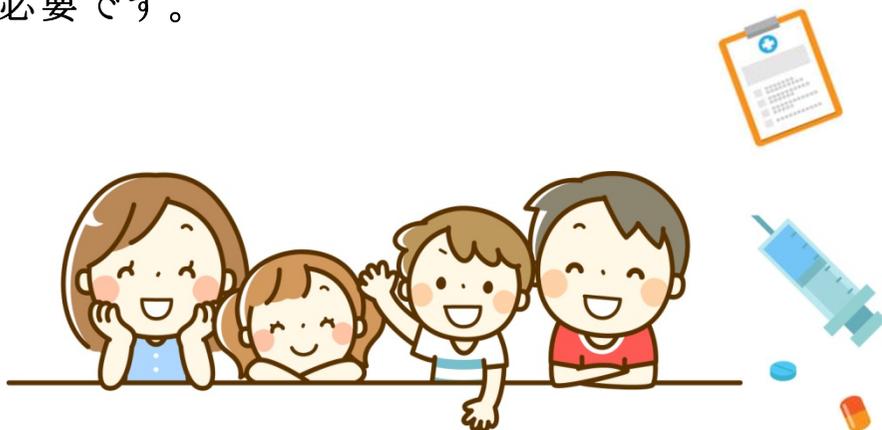




格差が広がる北海道では、6人に1人の子どもが貧困状態。

子どもたちの健康が、「お金のある・なし」で左右されないよう、安心して病院に行ける制度が必要です。



札幌市 最低レベル、子どもの医療費無料化

	外来	入院
札幌市	小1まで (初診医科580円/歯科510円)	中3まで (所得制限622万円、小2~一部負担、課税世帯1割負担)
大阪市	高3まで (1日上限500円、月2500円上限)	高3まで (12歳以上所得制限622万円未満)
名古屋市	中3まで (制限なし)	中3まで (制限なし)
神戸市	中3まで (3歳以上1日上限400円)	中3まで (制限なし)
京都市	中3まで (2歳まで1日上限200円、中3まで月上限3000円)	中3まで (制限なし)
さいたま市	中3まで (制限なし、窓口無料)	中3まで (制限なし)
仙台市	中3まで (就学前窓口無料、小1~中3初診500円)	中3まで (小1~10日目まで500円/日、所得制限532万未満)
東京都	中3まで (制限なし)	中3まで (制限なし)

すべての札幌の子どもたちのために

秋元市長は「子ども医療費の無料化を小学生まで拡大」と公約しています。しかし、今年4月になって、ようやく小学1年生まで無料化。来年4月からは小2まで拡大となっていますが、「外来・入院ともに中学卒業まで」こそが、市民の願いです。

お金がなくて病院に行けない!?

札幌市が2017年に発表した子どもの貧困についての調査結果では、18.4%の親が「病院等を受診した方が良かったが受診させなかった経験」があると答えています。そのうち27.2%が「お金がなかったから」と答えています。

札幌では、小学校入学とともに子ども医療費の助成がなくなり、治療が中断されるケースが少なくありませんでした。子どもたちを守るために「せめて中学卒業まで」の声に応えて、市による助成拡大が急務です。

ひどい！札幌の子どもの実情「中学生で総入れ歯」

虫歯が10本以上あるが、経済的に厳しくてずっと歯科医院に行けなかった小学生。最終的に、中学生で総入れ歯に。(中学校養護教諭より)

- Q：道内179市町村の医療費助成は？
- A：約7割が「中3まで無料」です



「中3まで無料」125市町村（小樽市、旭川市、北広島市など）、「高3まで無料」54市町村（南幌町、長沼町など）となっています(2017.4現在)。「小1まで無料」の札幌市は大きく立ち遅れています。

- Q：市の医療費負担が膨大になる？
- A：そんなことはありません

子どものちょっとした変化から受診し、早期の病気発見につながることもあり、重症化する件数が減るなどして、むしろ「長期的に見れば医療費が減る」(18歳まで通院・入院無料の摂津市・森山市長)という自治体もあります。子ども医療費の助成で「入院が減った」という研究結果も報告されています(毎日新聞17年9月5日付)。



署名へのご協力をお願いします！

日本共産党



池田ゆみ市政
事務所だより

2018年
号外

〒062-0904 豊平区豊平4条10丁目2-1
高木ビル1階 TEL 818-8367